

カシワの花

子供のころ、秋になるときまってドングリ（堅果）を集めた。ポケットの中を、ゴミだらけにしながら拾い集めたドングリも、翌日にはつぶてとして投げ合うことが多かった。ドングリの仲間には、道内ではミズナラ、コナラ、カシワの3種がある。このうちカシワについて、ドングリのもとである花にスポットをあててみよう。

カシワの花は、雄花と雌花に分かれているが、雌雄同株であり、1本の枝に両性の花をつけ



カシワの雄花

る。雄花、雌花ともに5月もなかばを過ぎ、新しい枝が伸び葉が展開する時期に開花する。雄花は新しい枝の基部ちかくに尾状花序をつける。この花序には、黄色の小さい花がらせん状に多数つく。雌花序の多くは、穂状に新しい枝の先端部ちかくにある葉の基部につくが、ときには枝のなかほどにある側部葉の基部にもつく。1つの雌花序には、2~3個の赤くかわいらしい雌花がついている。



カシワの雌花

きれいな花には当然のごとく虫がつくわけで、カシワの雌花も花序基部の軟かい部分をハマキガに食べられ、ドングリになれずに散る花も多い。

（防災科 清水 一）